

第1回 ため池百選選定委員会 議事概要

- 1 日時：平成21年1月8日（木）13:30～15:05
- 2 場所：農林水産省第2特別会議室
- 3 出席者：別紙のとおり
- 4 概要：
 - (1) 座長の選任
林委員が座長に選任された。
 - (2) 会議等の公開について
以下について事務局から説明し、了承された。
 - ・ 報道発表については、委員会の開催、百選の募集、インターネット投票、百選の決定の際に農林水産省から随時プレスリリースを実施する。
 - ・ 委員会の会議については、原則公開とし、取材及び傍聴を可とするが、具体的な選定に係る会議については非公開とする。
 - ・ 委員会資料については、議事次第、説明資料等の配付資料、議事の概要等は原則農林水産省ホームページにおいて公開とするが、具体的な選定に係る資料、議事概要等は非公開とする。
 - (3) 事務局からため池百選の「企画の背景」及び「選定の考え方(案)」について資料に基づいて説明
 - (4) 委員からの主な意見
 - ① 選定の対象について
 - ・ 選定は、個別のため池を単位として行うことを原則とし、複数のため池を単位とすることは、例外的に書かれているが、小さなため池でも、複数あることで、生態系などの面でまとまりのある場合もかなりあるので、「一体的なため池群」を「単体のため池」と同等の扱いにしてはどうか。
 - ・ 江戸時代から農業に使われてきた由緒あるため池のようなものは、現在、農業用として使われていない場合であっても、「番外」で選定してはどうか。
 - ・ 由緒あるため池は、現在も農業に使われているのではないか。
 - ・ 「現に農業用の水源として」利用されているため池を対象とし、歴史あるため池で、現在農業用に使われていないものが出てきたらあらためて議論することとしてはどうか。
 - ② 選定に当たっての視点について
 - ・ ため池は、地域の日々の暮らしに直結していることから、選定に当たっては、「そこで生き続けられるためのため池」といった視点も必要ではないか。
 - ・ 例えば、地域活動が盛んでため池のハザードマップを作成しており、「地域とのかかわり」の視点から評価できるものであっても、地元の事情から評

価の対象となるハザードマップが公表されていない場合どうするか。

- ・ 「生態系」の視点の内容に、「生態系ネットワークの要となるもの」を加えてはどうか。
- ・ 豪雨時に、ため池が土砂流出を抑制した例もあることから、ため池が、防災に役立っているかどうかという視点も入れてはどうか。
- ・ 土砂流出抑制は、本来は砂防ダムで対応するものであり、ため池が果たす積極的な役割とはいえないのではないか。

③ 選定の方法について

- ・ 応募自体は、幅広く様々な人から出していただく方が良いが、インターネット投票を始める前の段階で、地元で、百選候補となることについての可否を尋ねるプロセスが必要ではないか。
- ・ ホームページを見ない方々もいらっしゃることから、募集は、ホームページ等だけでなく、農林水産省の広報媒体を活用してはどうか。
- ・ 幅広く応募してもらえるよう、ホームページ等だけでなく、積極的に働きかけを行ってはどうか。
- ・ インターネット投票の結果が限られた地域のため池に集中する可能性もあるが、全国的な視点から選定する必要があるのではないか。
- ・ 投票はインターネットのみならず、郵送やファクシミリという方法はどうか。
- ・ 選定数は、ちょうど100にするかどうかは、今後の議論としてはどうか。

④ その他

- ・ 百選に選ばれると、人が集まる可能性がある。百選に選ばれた地域が、案内板や駐車場などを設置できるような支援も考えてはどうか。

文責：ため池百選選定委員会事務局（農林水産省農村振興局整備部防災課）

－速報のため、事後修正の可能性あり－

(別紙)

第1回ため池百選選定委員会 出席者名簿

委	員	青	山	咸	康	石川県立大学生物資源環境学部教授
		内	田	和	子	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授
		桜	井	洋	子	NHKアナウンス室専門委員
		目		光	紀	全国地方新聞社連合会副会長
		英		伸	三	写真家
		林		良	博	東京大学大学院農学生命科学研究科教授 (座長)
		平	野	啓	子	語り部、大阪芸術大学芸術学部教授
		鷺	谷	いづみ		東京大学大学院農学生命科学研究科教授 (五十音順、敬称略)

農林水産省	吉	村		馨	農村振興局長
	齋	藤	晴	美	農村振興局次長
	齋	藤	政	満	農村振興局整備部長
	小	林	祐	一	農村振興局整備部設計課長
	下	山	洋	文	農村振興局整備部防災課長
	印	藤	久	喜	農村振興局整備部防災課 海岸・防災事業調整官